

キャリアセンターの現状についての説明

-キャリア教育・就職活動を知る-

1. はじめに (就職動向・他)
2. キャリア教育について
3. 社会が求める人材について
4. 就職活動の現状について
5. まとめ (キャリアセンターについて)



1. はじめに

最近の大学の就職状況 (就職率)

- H29年度 (98.2%)
- H28年度 (97.8%)
- H27年度 (96.9%)
- H26年度 (96.3%)
- H25年度 (95.7%)

就職後のキャリアが重要

2018年度の大学求人倍率1.88倍 (昨年1.78倍)
中小企業では9.91倍



1. はじめに

“そもそもキャリアとは!?”

No!

- 出世・仕事等の結果を指す言葉ではない
- 仕事を通した「生き方」そのもの (運なりや積み重ね) を指す

東京大学キャリア教育推進センター「キャリア教育の推進に関する調査」報告書より一部抜粋・加工



1. はじめに

2011年4月に大学設置基準で、「キャリア教育の義務化」

- キャリア教育は、大学教育の根幹に位置づける
- キャリア教育を通して学生へと成長させ、社会で活躍できる人材育成
- キャリア教育本来の理念に立返った理解の共有が重要 (文科省)
(就職率等の数値のみでは測れない: 卒業生の活躍が鍵)

キャリア教育とは?



2. キャリア教育

キャリア教育 ⇨ 答えを探す・見つける力 (就業力)

- 現代はインターネット環境の普及等で情報入手が容易
- 実体験や生活体験が著しく乏しいといわれている
- 本来、様々な経験により生きていく力や知恵を習得
- 多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じることで初めて“考える”
- 正解主義 ⇨ 修正主義 (自ら新たな仮説の設定)
- 修正主義 ⇨ 納得解を生み出す力の涵養

※深い知識 (正しい) 物事を認識し判断する能力)



2. キャリア教育

キャリア教育と職業教育

キャリア教育

社会的・職業的自立に向け必要な基礎となる能力や態度を育成

特定の活動や指導方法に限定されるものではなく様々な教育活動を通して実践される

多様な気づきや発見を得させる (実践する) ことが重要

生涯にわたり自分らしく生きるための教育

職業教育

一定又は特定の職業に従事する為に必要な知識、技能、能力や態度を育成

特定の専門的な知識・技能の育成+必要な能力や態度の育成

社会の変化に直し、多様な職業に対応し得る能力の育成が重要

職業に従事するための教育

東京大学キャリア教育推進センター「大学の学びにおけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より一部抜粋・加工



